

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Boku N, Yamamoto S, et al.	Randomized phase III study of 5-fluorouracil versus combination of irinotecan plus cisplatin versus S-1 in metastatic gastric cancer (JCOG9912)	Lancet Oncol	10	1063-9	2009
Tanai C, Nokihara H, Yamamoto S, et al.	Characteristics and outcomes of patients with advanced non-small-cell lung cancer who declined to participate in randomised clinical chemotherapy trials	Br J Cancer	100	1037-42	2009
Yoshikawa T, Yamamoto S, et al.	Phase II study of neoadjuvant chemotherapy and extended surgery for locally advanced gastric cancer	Br J Surg	96	1015-22	2009
Okusaka T, Yamamoto S, et al.	Transarterial chemotherapy alone versus transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: A randomized phase III trial	J Hepatology	51	1030-6	2009
Itoh K, Kinoshita T, Yamamoto S, et al.	Prognostic analysis and a new risk model for Hodgkin lymphoma in Japan.	Int J Hematol.	released online		
山本精一郎	分子標的治療薬の評価	日本臨牀	67	430~437	2009
山本精一郎	バイオマーカーを用いた臨床試験計画	腫瘍内科	4	40~47	2009
山本精一郎	個別化治療開発の臨床試験デザイン	最新医学	64	1874 ~ 1879	2009
山本精一郎	バイオマーカーを用いた臨床試験デザイン	がん化学療法・分子標的治療 update		359~363	2009
山本精一郎	研修医からの質問 Q&A	臨床腫瘍プラクティス	5	426~427	2009
山本精一郎	がん臨床試験の生物統計学	産科と婦人科	77	495~502	2010
山本精一郎	研究倫理と被験者保護：国内外における現状と今後の方向性	血液・腫瘍科	in press		
佐藤暁洋、近藤直樹、藤原康弘	臨床研究倫理指針の改正について	腫瘍内科	3	233-237	2009
山下紀子、藤原康弘	改正された「臨床研究に関する倫理指針」の解説	分子細胞治療	8	217-221	2009
藤原康弘	高度医療評価制度について	Cancer Frontier	11	214-217	2009
平田泰三、藤原康弘	改正臨床研究に関する倫理指針について	Cancer Frontier	11	218-221	2009
藤原康弘	Medical writing への期待 医療従事者の立場から	臨床医薬	26	541-550	2009
山下紀子、藤原康弘	臨床試験登録と結果の公開	腫瘍内科	印刷中		2010
山下紀子、藤原康弘	改正された臨床研究に関する倫理指針の基本理念	日本病院薬剤師学会誌	46	343-346	2010
山下紀子、福田治彦	新しい「臨床研究に関する倫理指針」	腫瘍内科	3	585-590	2009

加幡晴美、 <u>福田治彦</u>	臨床試験に必要なデータ管理システム	腫瘍内科	4	85-93	2009
中村健一、 <u>福田治彦</u>	新しい RECIST ガイドラインと効果判定規準の考え方	腫瘍内科	4	288-294	2009
<u>福田治彦</u> 、木村綾、中村慎一郎、 <u>山本精一郎</u> 、 <u>柴田大朗</u> 、中村健一、 <u>山下紀子</u> 、ら	がんの研究者主導臨床試験グループにおける臨床研究支援体制～データマネージメントと組織運営について～（共同発表）	臨床研究・生物統計研究会誌	29	1-9	2009
中村健一、 <u>福田治彦</u>	新 RECIST による消化管癌に対する化学・放射線療法の治療効果判定の考え方と問題点	胃と腸	44	1816-1821	2009
富井裕子、 <u>福田治彦</u>	臨床試験の品質管理と品質保証	腫瘍内科	4	473-479	2009
<u>柴田大朗</u>	臨床試験データの読み方	日本臨床	67 巻 増刊 号	425-429	2009
<u>柴田大朗</u> 、 <u>藤原康弘</u>	抗体治療の pharmacoeconomics	腫瘍内科	3	92-96	2009
<u>山下紀子</u>	臨床研究における臨床研究専門職の役割	がん化学療法・分子標的治療薬 update		478-483	2009
吉村健一	エビデンスをつくる臨床試験の ABC.	The Liver Cancer Journal	2	61-7	2010

IV. 付録

ICRwebサイト評価補助業務

アクセスログ解析レポート

作成日	2010年3月15日(月)		
対象URL	http://www.icrweb.jp		
解析期間	2009年9月1日(火) - 2010年2月28日(日)		
比較期間	対象日数	181日間	対象日数

目次

■ 解析概要	・・・ 3	■ ユーザー動向レポート	・・・ 9
■ 用語解説	・・・ 4	①新規ユーザー/リピーターの利用状況、時間別アクセス状況	・・・ 9
■ サマリー	・・・ 5	②リピーターの訪問頻度、訪問回数	・・・ 10
サイト分析結果		③新規ユーザー/リピーターの閲覧環境(OS/ブラウザ、画面解像度)	・・・ 11
セッション/ページビュー/平均ページビュー/直帰率/ 平均サイト滞在時間/新規セッション率		④新規ユーザー/リピーターのアクセス元割合、利用状況	・・・ 12
		⑤新規ユーザー/リピーターが利用している検索エンジン、参照元サイト	・・・ 13
		⑥新規ユーザー/リピーターによく見られているコンテンツと離脱率	・・・ 14
		⑦新規ユーザー/リピーターによく見られているコンテンツと平均滞在時間	・・・ 15
		⑧新規ユーザー/リピーターによく見られているコンテンツと直帰率	・・・ 16
		⑨新規ユーザー/リピーターの閲覧開始ページと直帰率	・・・ 17
■ 推移レポート	・・・ 6	■ ユーザー行動遷移(参考)	・・・ 18
①新規ユーザー/リピーター別セッション	・・・ 7	①トップページ/臨床研究入門初級編(シラバス)	・・・ 19
②新規ユーザー/リピーターの別ページビュー	・・・ 8	②臨床研究入門中級編(シラバス)/被験者保護	
③ユニークユーザー数			

解析概要

■ 解析目的

ページ遷移や離脱ページ、滞在時間を明らかにすることで、利用者の行動情報やサイト内の問題点、ニーズを洗い出します。

■ 解析対象

<http://www.icrweb.jp/icr/>以下の全ページ。但し、別ウインドウで表示されるeラーニングの動画配信システムのページについては、調査対象としていません。

■ 解析期間

通常のアクセス解析では、1ヶ月毎の解析結果を比較分析しますが、今回の調査ではユーザー動向のトレンドを把握する必要があるため、ある程度の期間にわたるレポートが必要と判断し、下記期間のアクセス解析を行いました。

【解析期間】

2009年9月1日～2010年2月28日(181日間)

■ 解析方法

Googleが提供する、高機能な無償アクセス解析ツール「Google Analytics(グーグル アナリティクス)」を使用。

新規ユーザーとリピーターでセグメントし、解析期間内の主要データの推移、ユーザー動向を調査しました。コンバージョン設定がされていないため、期間比較による効果測定はしておりません。尚、キーワードについては別に行う「キーワード調査」にて分析を行っています。

※ 当該URLでないページ(外部サイト)や、解析タグが仕込まれていないページについては解析ができません。また、解析タグが仕込まれていても、リダイレクトにより正確な解析が難しい場合があります。

【解析ツール】

Google Analytics(グーグル アナリティクス)

【解析内容】

- 推移レポート(セッション、ページビュー、ユニークユーザー数)
- ユーザー動向レポート
(利用状況、リピーターの訪問頻度、リピーターの訪問回数、時間別アクセス状況、閲覧環境、アクセス元、検索エンジン、参照元サイト、よく見られているコンテンツと離脱率よく見られているコンテンツと直帰率、よく見られているコンテンツと平均滞在時間、閲覧開始ページと直帰率、滞在時間の長いページ、離脱率の高いページ、直帰率の高いページ)
- ユーザー行動遷移(参考)
- ユーザー行動遷移(参考)
(トップページ、臨床研究入門初級編(シラバス)、臨床研究入門中級編(シラバス)、被験者保護)

用語解説

● セッション

訪問者がサイトを表示してから出て行くまでの動き。訪問回数。1回の訪問で何ページ表示してもセッション数は1となります。またページを表示したまま30分間何も操作がないと、セッションは終わったとみなされます。

● ページビュー (PV)

ページの表示回数。同一のユーザーが、サイト内を移動し、複数のページを閲覧した場合も、それぞれが1ページビューとして数えられます。

● 平均ページビュー

サイトを訪れたユーザーが、1回あたりの訪問で閲覧したページ数の平均を表しています。(ページビュー÷訪問回数)

● ユニークユーザー

サイトを訪れた重複しない訪問者。期間内に同じユーザーが何度サイトを訪れても、ユニークユーザー数は1と数えられます。

● 新規セッション率

ある期間において、総セッション(訪問)数に対するその期間に初めてサイトを訪問したと記録された数の割合のこと。ある期間より以前にそのサイトを訪問した記録がある場合は、それは新規セッションではなくリピートセッションとなります。(新規セッション数÷総セッション数)

● 直帰率

サイトを訪れたユーザーが、サイト内の他のページに移動せず、1ページのみ閲覧し去ってしまった確率を指します。(直帰数÷閲覧開始数)

● 平均サイト滞在時間

ユーザーがサイトを訪れてから、閲覧を終えるまでの平均的な時間を指します。

● 閲覧開始ページ

閲覧開始ページとは、サイトを訪れたユーザーが最初に閲覧したページを指します。

● 離脱ページ

離脱ページとは、サイトを訪れたユーザーが最後に閲覧したページを指します。ページを表示したまま30分間何も操作がないと、離脱したとみなされます。

● 離脱率

離脱率は、ページを訪れた利用者のうち、そのページを最後にして他のサイトに移動していった利用者の割合を示す指標です。(離脱数÷セッション数)

● ノーリファアラ-

そのページにアクセスさせるに至った元のページのURLのことを指します。ノーリファアラ-とは、そのページにアクセスさせた元のページが無い、つまりお気に入りや、ブラウザへのURL直接入力、メールやワード等のファイル内のリンクからサイトを訪れた場合を指します。

● 参照サイト

ユーザーが他サイトから、自サイトへアクセスした場合、他サイトが参照サイトとなります。

● 参照元

自サイト内の特定のページへアクセスさせた元のページを指します。

サマリー(2009年9月1日～2010年2月28日)

サイト分析結果

セッション数は参考サイトとほぼ同じですが、ページビュー、平均ページビュー、平均サイト滞在時間の値が参考サイトの数倍になっており、ユーザーが良くサイト利用している結果がでています。新規セッション率が参考サイトに比べ低いのは、リピータが多く、固定ファンが繰り返して訪れている結果で、当サイトのようユーザーに利用してもらうことを目的としているサイトとしては、まずまずの結果だといえるでしょう。

新規ユーザーの獲得に力を入れていくことにより、更にサイトがスケールアップしていくはずですが、アクセス元情報からわかるように、新規ユーザーのノーリファラー(お気に入り、URLの直接入力、ワード等ファイルやメールからのリンク)のアクセスが非常に多く、予め訪問意思を持ったユーザーが多く訪れている状況となっています。

今後は、検索エンジンの対策や外部リンクを増やすことにも力を入れ、見込みユーザーを獲得していくことも必要です。

※参考サイト…特定のサイトではなく、Googleによりカテゴリとサイズで分けられ統計処理された「サイト群」です。「医学文献、資料」カテゴリの同規模サイトを指標にしています。

■ セッション

ICRweb	参考サイト	比較差
34,364	33,069	1,295

【傾 向】 参考サイトとほぼ同じセッション数。月平均、約5,700のセッション(訪問回数)。

■ 直帰率

ICRweb	参考サイト	比較差
24.15%	53.24%	-29.09%

【傾 向】 参考サイトのほぼ半分の直帰率。

■ ページビュー

ICRweb	参考サイト	比較差
761,033	93,815	667,218

【傾 向】 参考サイトの約8倍のページビュー。月平均、約127,000ページビュー。

■ 平均サイト滞在時間

ICRweb	参考サイト	比較差
0:12:24	0:02:05	0:10:19

【傾 向】 参考サイトの約6倍の滞在時間。

■ 平均ページビュー

ICRweb	参考サイト	比較差
22.15	2.84	19.31

【傾 向】 参考サイトの約11倍のページビュー。

■ 新規セッション率

ICRweb	参考サイト	比較差
28.30%	69.47%	-41.17%

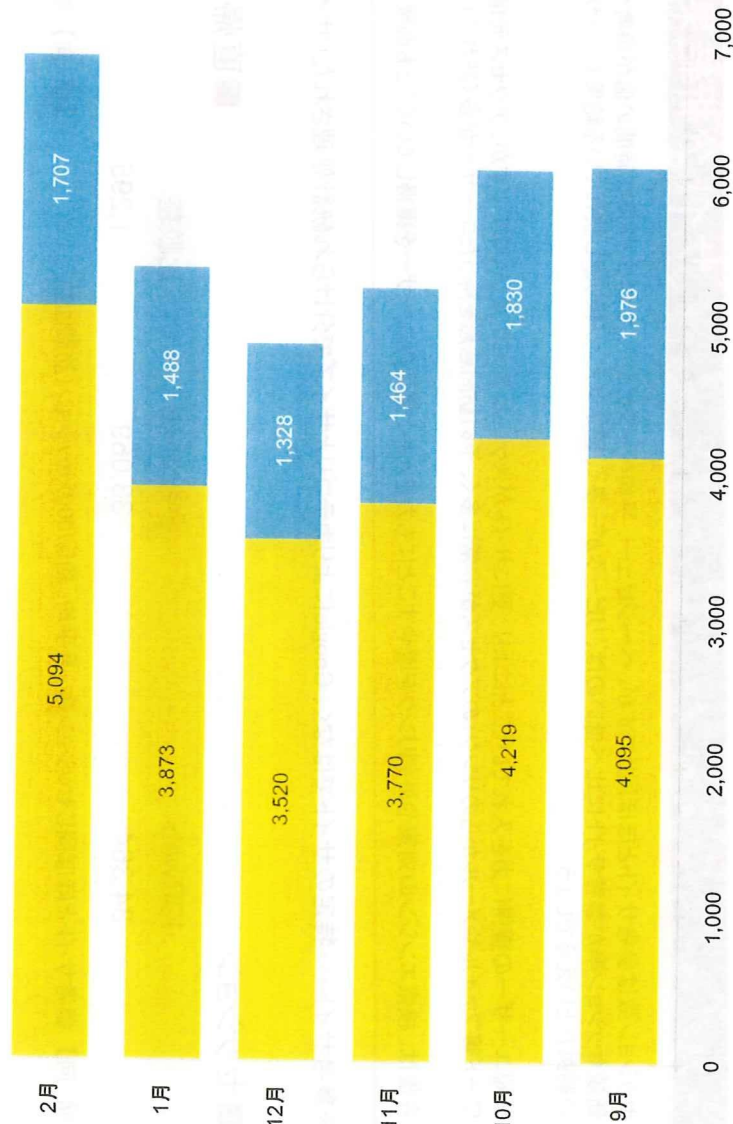
【傾 向】 参考サイトの約2分の1の新規セッション率。

推移レポート

■セッション

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
新規ユーザー	1,976	1,830	1,464	1,328	1,488	1,707
リピーター	4,095	4,219	3,770	3,520	3,873	5,094
合計	6,071	6,049	5,234	4,848	5,361	6,801
新規ユーザー割合	33%	30%	28%	27%	28%	25%
リピーター割合	67%	70%	72%	73%	72%	75%

■ リピーター ■ 新規ユーザー



【傾向】

- ・新規ユーザーとリピーターの比率はおよそ3:7で推移。
- ・9月から12月にかけて全体的に減少するが、1月より回復傾向。
- ・新規ユーザーは9月、リピーターは2月のセッション数が多い。

【考察】

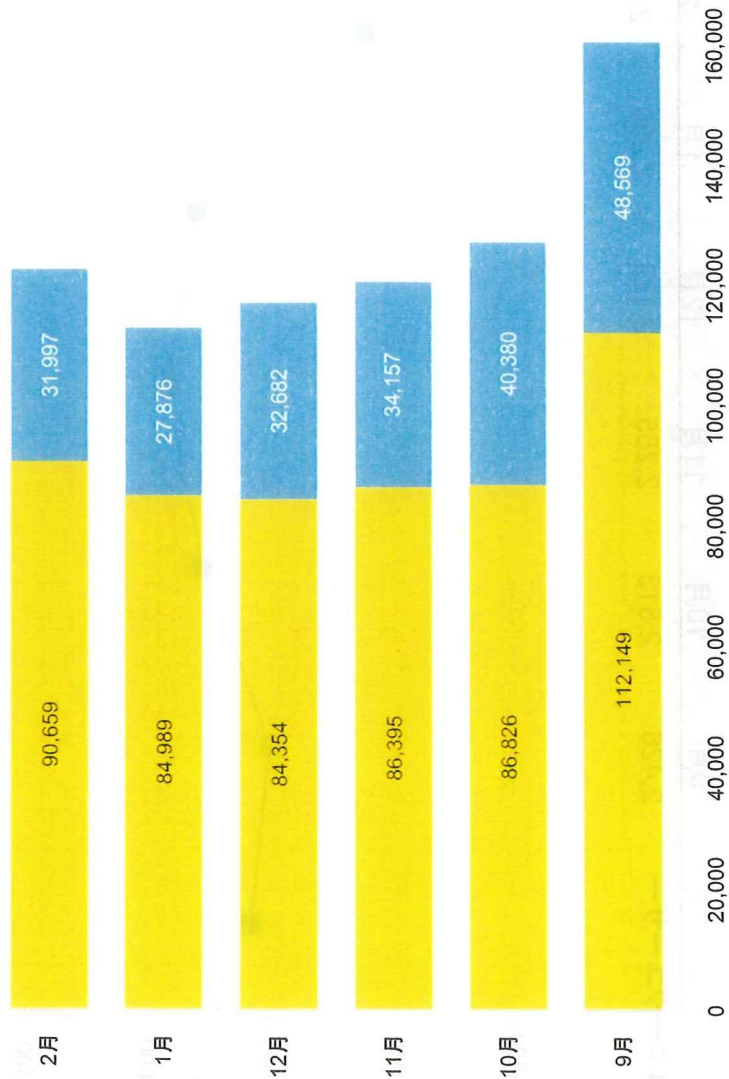
9月～2月のユーザー別のセッション数の推移を表している。年末にむけてセッション数が減るのは、業務が忙しくなるためだと推察される。サイト離れをおこさないためにも、この時期はメールマガジン等でユーザーをつなぎとめておきたい。

推移レポート

■ ページビュー

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
新規ユーザー	48,569	40,380	34,157	32,682	27,876	31,997
リピーター	112,149	86,826	86,395	84,354	84,989	90,659
合計	160,718	127,206	120,552	117,036	112,865	122,656
新規ユーザー割合	30%	32%	28%	28%	25%	26%
リピーター割合	70%	68%	72%	72%	75%	74%

■ リピーター ■ 新規ユーザー



【傾向】

- ・新規ユーザーとリピーターの比率はおよそ3:7で推移。
- ・9月のページビューが新規ユーザー、リピーターともに突出。
- ・全体のページビューでは、12月、1月にやや減少したものの120,000PV前後で推移。

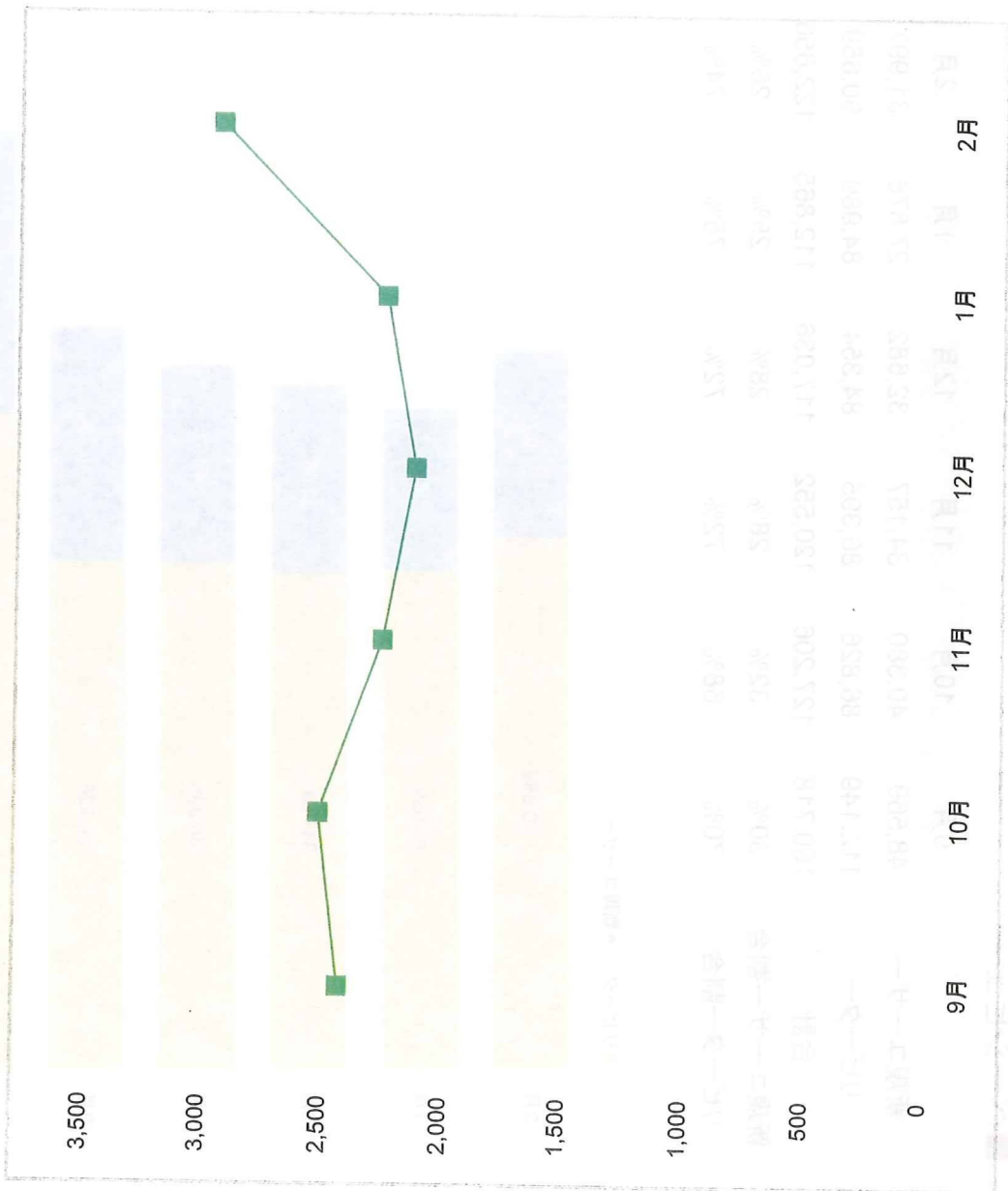
【考察】

9月～2月のユーザー別のページビューの推移を表している。年末にむけてページビューが減るのは、業務が忙しくなるためだと推察される。関連ページへのリンクやレコメンドを入れることにより、更にもう1ページ閲覧してもらえらえる可能性が増え、ページビュー増加につな

推移レポート

■ ユニークユーザー数

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ユニークユーザー	2,426	2,513	2,255	2,122	2,250	2,933



【傾向】

- 10月から12月にかけて減少するが、1月より回復傾向。
- 2月のユニークユーザー数が2,933と突出。

【考察】

9月～2月のユニークユーザー数の推移を表している。2月の増加要因については不明。毎月2,000～3,000の人が興味を持って、当サイトへ訪れていることになる。サイト認知度を上げるため、外部露出をさらに多くすることにより、ユニークユーザー数を増やした

ユーザー動向レポート

■新規ユーザーの利用状況

順位	結果
1訪問あたりの平均閲覧ページ数 (PV)	22.02
平均サイト滞在時間	0:10:53
直帰率	24.4%

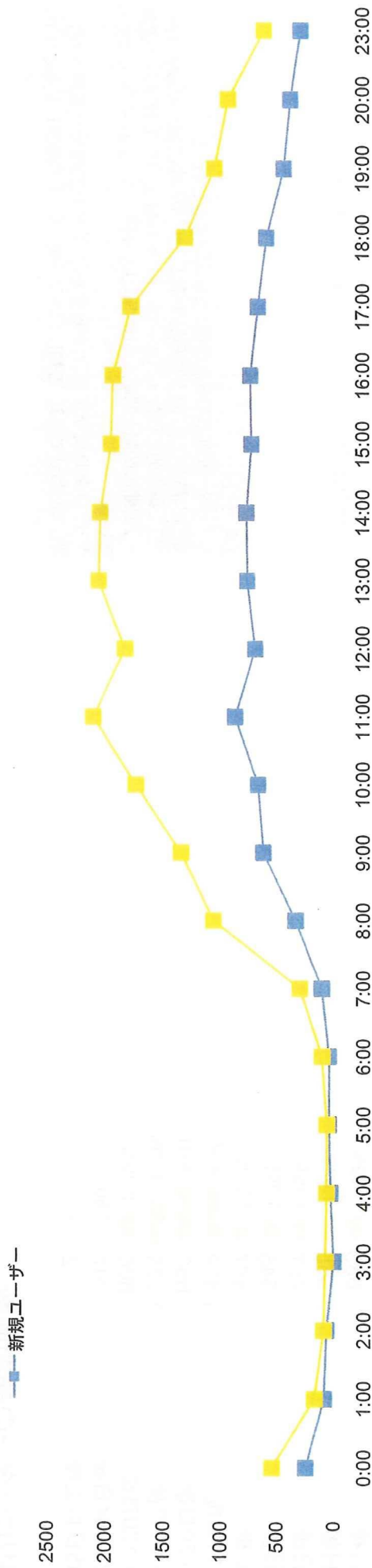
■リピーターの利用状況

順位	結果
1訪問あたりの平均閲覧ページ数 (PV)	22.02
平均サイト滞在時間	0:13:01
直帰率	24.0%

【考察】

サイト利用状況をユーザー別に表している。サイト利用状況は、平均閲覧ページ数が3ページ程度とだが、当サイトの22ページビューは、利用者が熱心にサイトを活用してくれているものと考えられる。通常、読み物中心のコンテンツでは、平均閲覧ページ数は10～13分と比較的長くサイトに滞在しており、よく読まれているものと推察できる。

■時間別アクセス状況

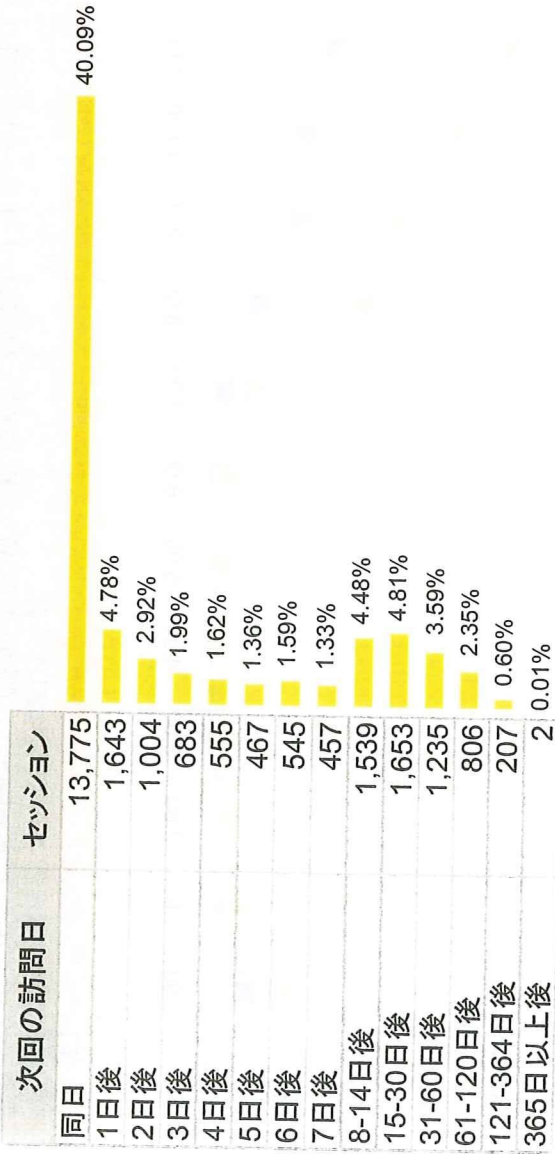


【考察】

時間別のアクセス状況を、ユーザー別に表している。新規ユーザーもリピーターも傾向は同じく、10時から17時(特に11時)にアクセスが多い。サイトにユーザーを呼び込むには、アクセス数の上昇する午前中に、メールによる更新通知をするのが有効的

推移レポート

■リピーターの訪問頻度



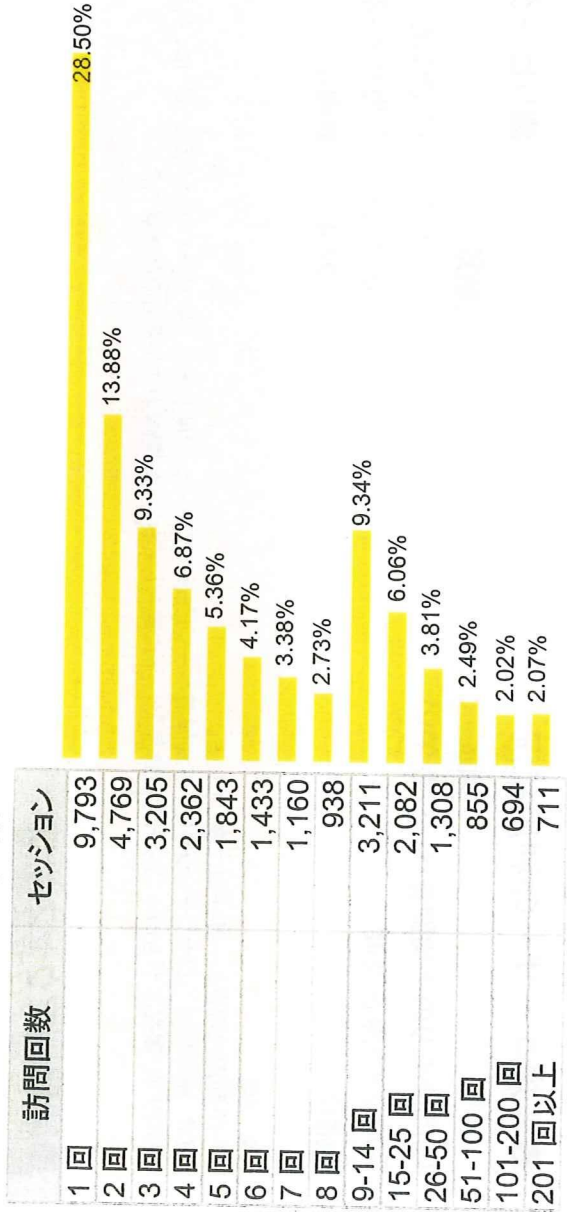
【傾向】

- ・その日のうちに再訪するユーザーが40%
- ・1日後の訪問について、15-30日後、8-14日後と続く

【考察】

リピーターが何日おきに訪問しているかを表している。新規に訪れた日のうちに再訪するユーザーが40%を超えており、1日、2日で集中的に履修するユーザーと、8-14日後、15-30日後と、1週間～2週間の間隔を隔てて再びサイトに訪れるユーザーとに別れている。サイトは毎日更新することが理想だが、この訪問頻度(1週間～2週間)にあわせて更新・告知していくことで、サイトが頻繁に更新されている

■リピーターの訪問回数



【傾向】

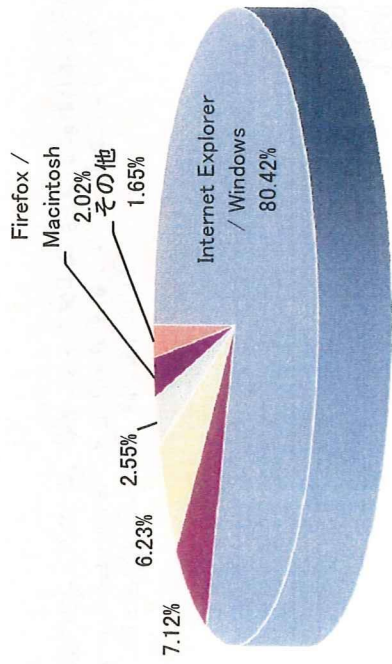
- ・1回が28.5%で突出して多く、2回、3回と順に低くなる
- ・2回に続き、9-14回が9.3%で3番目に多い

【考察】

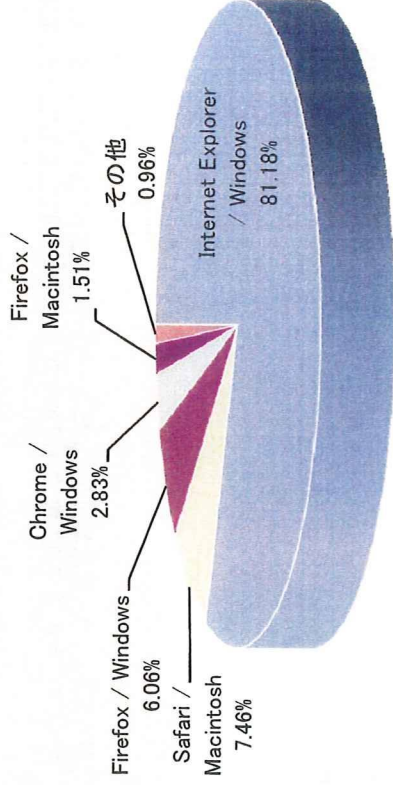
リピーターが何回訪問しているかを表している。10回以上が3番目に多く、リピーターの訪問回数としては理想的な状態

ユーザー動向レポート

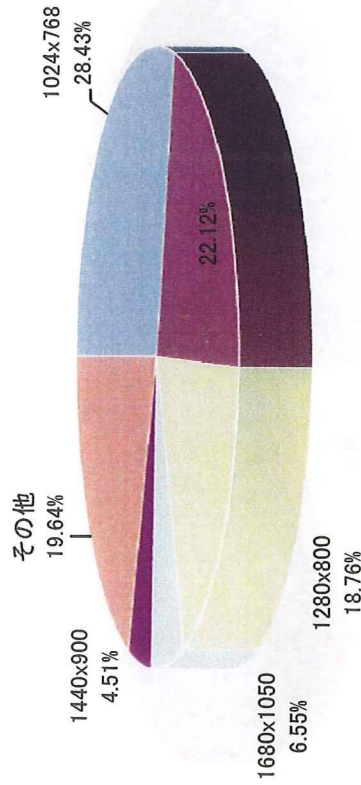
■新規ユーザーの閲覧環境(OS/ブラウザ)



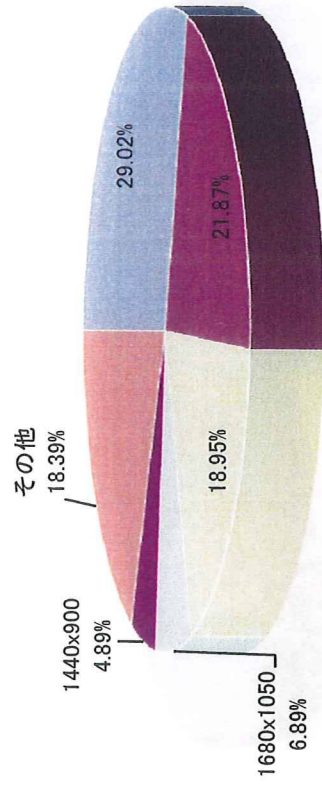
■リピーターの閲覧環境(OS/ブラウザ)



■新規ユーザーの閲覧環境(画面解像度)



■リピーターの閲覧環境(画面解像度)

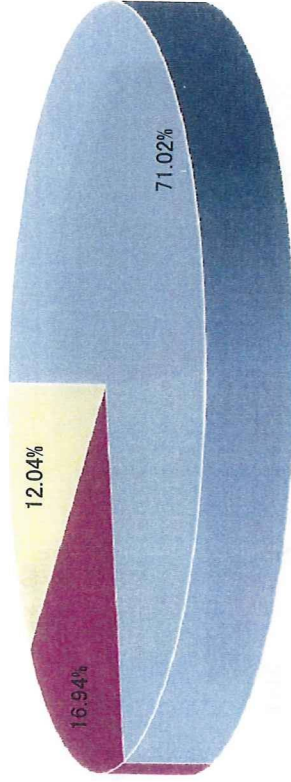


【考察】

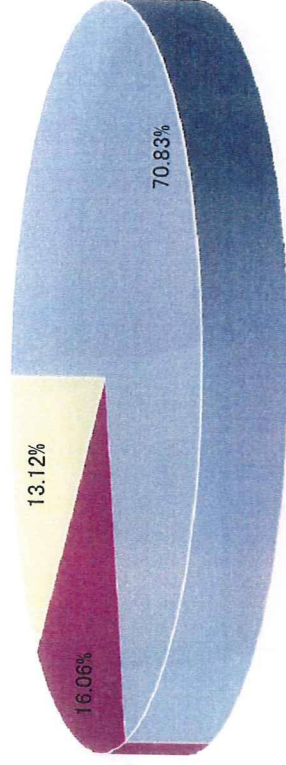
サイト利用者の閲覧環境をユーザー別に表している。ブラウザは圧倒的にInternet Explorerが多いが、OSについては1割弱がMacintoshユーザーとなり、他のサイト(7~8%)と比べ、比較的多い傾向にある。画面解像度はワイド画面のモニターが増えてきており、リキッドレイアウトの場合は、ウィンドウを最大化した際のページレイアウトに配慮したい。

ユーザー動向レポート

■新規ユーザーのアクセス元割合



■リピーターのアクセス元割合



■新規ユーザーのアクセス元別利用状況

	セッション	平均PV
ノーリファラー	6,955	22.34
参照サイト	1,659	21.34
検索サイト	1,179	21.09

■リピーターのアクセス元別利用状況

	セッション	平均PV
ノーリファラー	17,403	20.11
参照サイト	3,945	25.45
検索サイト	3,223	29.48

【考察】
 サイト利用者のアクセス元状況をユーザー別に表している。
 新規ユーザーのノーリファラー(お気に入り、URLの直接入力、ワード等ファイルやメールからのリンク)のアクセスが非常に多く、予め訪問意思を持ったユーザーが多く訪れている状況となっている。
 この状況は決して悪いことではないが、検索エンジン経由でやってくる新規訪問者を増やすことで、サイトは成長していくため、今後はSEO対策や外部からのリンクを増やすことにも注力する必要がある。

ユーザー動向レポート

■新規ユーザーが利用している検索エンジン

順位		セッション	平均PV
1	yahoo	859	24.27
2	google	220	8.02
3	bing	92	22.26
4	その他	8	26.63

■リピーターが利用している検索エンジン

順位		セッション	平均PV
1	yahoo	2,458	31.54
2	google	548	20.34
3	bing	193	26.48
4	その他	24	52.46

■新規ユーザーの参照元サイト

順位		セッション	平均PV
1	研究留学ネット	154	5.24
2	久留米大学医学部医学科	120	20.95
3	北野病院	97	17.12
4	学校法人 順天堂	93	41.95
5	smswww	78	34.32
6	大阪医科大学	69	26.32
7	秋田大学 大学院医学系研究科・医学部	67	54.58
8	ka101w.kaw101.mail.live.com	51	19.63
9	日本臨床腫瘍研究グループ	45	9.36
10	神戸大学医学部附属病院	38	31.24

■リピーターの参照元サイト

順位		セッション	平均PV
1	久留米大学医学部医学科	345	36.04
2	北野病院	235	26.85
3	学校法人 順天堂	229	41.51
4	秋田大学 大学院医学系研究科・医学部	218	36.86
5	smswww	213	33.52
6	日本臨床腫瘍研究グループ	178	10.94
7	ka101w.kaw101.mail.live.com	152	22.16
8	大阪医科大学	121	36.96
9	がん臨床研究機構	106	7.13
10	広島大学	98	25.64

【考察】

アクセス元である検索エンジンと参照元サイトの情報をユーザー別に表している。

検索エンジンの日本でのシェアは、Yahoo、Google、その他の検索エンジンの順で「5:4:1」となっており、検索エンジン経由のアクセスもこれに比例することが多い。

しかし、当サイトでは「7:3:1」という比率になっており、Googleからのアクセスが少なく、また、新規ユーザーの平均PVも、Googleだけ突出して低く、検索結果の一覧表示におけるコピーの見直しや、Googleに集中したSEO対策が必要。

参照元サイトは、多ければ多いほど集客力が強くなるため、できる限り外部からのリンクを多く集めたい。特にセッションや平均PVの高い「久留米大学」や「順天堂」、「秋田大学」、「秋田大学」は、質の高い大事な

ユーザー動向レポート

■新規ユーザーによく見られているコンテンツと離脱率

順位	ページ名	PV	離脱率
1	トップページ	17,165	17.65%
2	臨床研究入門初級編(シラバス)	6,993	7.89%
3	ユーザー登録	5,678	9.95%
4	臨床研究入門初級編(シラバス)	4,164	5.91%
5	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	3,575	2.66%
6	ICRwebの紹介	3,044	8.41%
7	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	2,403	0.08%
8	臨床研究入門中級編(シラバス)	2,308	28.08%
9	ログイン画面	1,767	4.98%
10	第1章 臨床研究概論(修了)	1,763	0.68%
11	ユーザー情報(リダイレクト)	1,693	10.87%
12	テーマ別講義一覧	1,679	14.00%
13	規制・ガイドライン集	1,570	3.95%
14	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(ポップアップブロックエラー)	1,547	3.43%
15	ICR講義開催情報	1,436	5.64%

■リピーターによく見られているコンテンツと離脱率

順位	ページ名	PV	離脱率
1	トップページ	30,294	16.54%
2	臨床研究入門初級編(シラバス)	15,856	10.43%
3	臨床研究入門初級編(シラバス)	10,729	9.06%
4	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	6,714	4.59%
5	臨床研究入門中級編(シラバス)	6,358	39.16%
6	トップページ	4,636	51.04%
7	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	4,563	0.18%
8	第7章 生物統計学1: 仮説検定(修了)	4,189	3.94%
9	第9章 研究倫理と被験者保護(修了)	3,952	3.37%
10	ログイン画面	3,920	6.53%
11	第3章 治療開発のための研究2: 非臨床試験(修了)	3,918	2.55%
12	ユーザー登録	3,908	12.49%
13	第4章 治療開発のための研究3: 治験(修了)	3,882	3.01%
14	ICRwebの紹介	3,621	9.25%
15	第5章 病気の原因を調べるための疫学研究1: ケース・コントロール研究(修了)	3,600	2.44%

【考察】

よく見られているコンテンツの上位ページと、そのページの離脱率をユーザー別に現している。

トップページや「臨床研究入門初級編(シラバス)」のPVが多いが、新規ユーザーについてはやはり「ユーザー登録」ページが上位にきている。

講義ページを順に閲覧しているのに、修了ページのPVだけが多いのは、草末に行われるアンケート送信後の長り先が、修了ページに設定されているためだと思われる。

離脱率については、目的を達成したり内容に満足したためにその場を去っていることも考えられるため、離脱率が高いページが一概に悪いページとはならない。

ただし、一覧ページやFAQの離脱率が高い場合は、利用者がそこに欲しい情報がないと判断して立ち去った可能性が高いため、注意が必要。目安として、離脱率30%以上は改善が必要になる。

「臨床研究入門中級編(シラバス)」ページの離脱率の高さについては、一覧に表示された講義名だけでは、ユーザーの求めている情報が得られなためだと推察する。

ユーザー動向レポート

■新規ユーザーによく見られているコンテンツと平均滞在時間

順位	ページ名	PV	平均滞在時間
1	トップページ	17,165	0:00:32
2	臨床研究入門初級編(シラバス)	6,993	0:01:01
3	ユーザー登録	5,678	0:01:37
4	臨床研究入門初級編(シラバス)	4,164	0:00:46
5	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	3,575	0:01:40
6	ICRwebの紹介	3,044	0:00:41
7	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	2,403	0:00:03
8	臨床研究入門中級編(シラバス)	2,308	0:01:40
9	ログイン画面	1,767	0:00:32
10	第1章 臨床研究概論(修了)	1,763	0:00:11
11	ユーザー情報(リダイレクト)	1,693	0:00:23
12	テーマ別講義一覧	1,679	0:00:59
13	規制・ガイドライン集	1,570	0:00:08
14	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(ポップアップブロックエラー)	1,547	0:01:06
15	ICR講義開催情報	1,436	0:00:20

■リピーターによく見られているコンテンツと平均滞在時間

順位	ページ名	PV	平均滞在時間
1	トップページ	30,294	0:00:29
2	臨床研究入門初級編(シラバス)	15,856	0:01:38
3	臨床研究入門初級編(シラバス)	10,729	0:00:54
4	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	6,714	0:01:49
5	臨床研究入門中級編(シラバス)	6,358	0:02:11
6	トップページ	4,636	0:01:19
7	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	4,563	0:00:04
8	第7章 生物統計学1: 仮説検定(修了)	4,189	0:02:19
9	第9章 研究倫理と被験者保護(修了)	3,952	0:02:12
10	ログイン画面	3,920	0:00:31
11	第3章 治療開発のための研究2: 非臨床試験(修了)	3,918	0:01:17
12	ユーザー登録	3,908	0:01:31
13	第4章 治療開発のための研究3: 治験(修了)	3,882	0:02:03
14	ICRwebの紹介	3,621	0:00:39
15	第5章 病気の原因を調べるための疫学研究1: ケース・コントロール研究(修了)	3,600	0:01:30

【考察】

よく見られているコンテンツの上位ページと、そのページの平均的な滞在時間をユーザー別に現している。

滞在時間が長いということは、サイトの情報が熱心に読まれていると考えられるが、一覧ページやFAQ等の滞在時間が長い場合は、利用者が迷っている可能性もありえるので、注意が必要。上記のページページについては、読ませるような内容ではないため、概ね1分以内の滞在時間となっているが、「臨床研究入門中級編(シラバス)」ページが1分40秒～2分20秒となっており、離脱率のところでも解説したとおり、ユーザーの求めている情報が得られず、迷っている可能性がある。

ユーザー動向レポート

■新規ユーザーによく見られているコンテンツと直帰率

順位	ページ名	PV	直帰率
1	トップページ	17,165	21.44%
2	臨床研究入門初級編(シラバス)	6,993	26.80%
3	ユーザー登録	5,678	33.93%
4	臨床研究入門初級編(シラバス)	4,164	30.00%
5	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	3,575	0.00%
6	ICRwebの紹介	3,044	39.22%
7	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	2,403	0.00%
8	臨床研究入門中級編(シラバス)	2,308	28.82%
9	ログイン画面	1,767	0.00%
10	第1章 臨床研究概論(修了)	1,763	100.00%
11	ユーザー情報(リダイレクト)	1,693	50.00%
12	テーマ別講義一覧	1,679	27.39%
13	規制・ガイドライン集	1,570	24.24%
14	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(ポップアップブロックエラー)	1,547	0.00%
15	ICR講義開催情報	1,436	55.56%

■リピーターによく見られているコンテンツと直帰率

順位	ページ名	PV	直帰率
1	トップページ	30,294	23.64%
2	臨床研究入門初級編(シラバス)	15,856	28.22%
3	臨床研究入門初級編(シラバス)	10,729	27.84%
4	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	6,714	7.69%
5	臨床研究入門中級編(シラバス)	6,358	35.59%
6	トップページ	4,636	44.91%
7	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	4,563	0.00%
8	第7章 生物統計学1: 仮説検定(修了)	4,189	11.11%
9	第9章 研究倫理と被験者保護(修了)	3,952	0.00%
10	ログイン画面	3,920	20.00%
11	第3章 治療開発のための研究2: 非臨床試験(修了)	3,918	7.14%
12	ユーザー登録	3,908	24.07%
13	第4章 治療開発のための研究3: 治験(修了)	3,882	33.33%
14	ICRwebの紹介	3,621	29.57%
15	第5章 病気の原因を調べるための疫学研究1: ケース・コントロール研究(修了)	3,600	0.00%

【考察】

よく見られているコンテンツの上位ページと、そのページの直帰率をユーザー別に現している。

サイトを利用したリピーターは更新情報だけをチェックするだけで十分なため、リピーターが増えるとトップページの直帰率が上がる傾向にある。

一般的にトップページの直帰率は50%以上、その他のページでは70%以上で改善が必要だと考えられているが、当サイトのリピーターのトップページ直帰率もこの範囲内に収まっているため、特に問題はない。

ユーザー動向レポート

■新規ユーザーの閲覧開始ページと直帰率

順位	ページ名	開始率	直帰率
1	トップページ	76.74%	21.44%
2	臨床研究入門中級編(シラバス)	4.07%	28.82%
3	テーマ別講義一覧	1.60%	27.39%
4	臨床研究入門初級編(シラバス)	0.99%	26.80%
5	トップページ	0.87%	35.29%
6	CTCAE v4.0の日本語訳が日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)のホームページで公開されました。	0.74%	91.67%
7	ユーザー登録	0.57%	33.93%
8	ICRwebの紹介	0.52%	39.22%
9	Glossary: 代行	0.50%	75.51%
10	共催セミナー	0.48%	42.55%
11	ICRweb臨床研究機関支援セミナー	0.35%	32.35%
12	規制・ガイドライン集	0.34%	24.24%
13	Glossary: すべて	0.33%	75.00%
14	Glossary: 代行: ニュルンベルグ綱領	0.32%	77.42%
15	ログイン画面	0.29%	7.14%

■リピーターの閲覧開始ページと直帰率

順位	ページ名	開始率	直帰率
1	トップページ	58.54%	23.64%
2	臨床研究入門中級編(シラバス)	5.34%	35.59%
3	トップページ	2.72%	44.91%
4	臨床研究入門初級編(シラバス)	2.15%	28.22%
5	臨床研究入門初級編(シラバス)	1.83%	27.84%
6	テーマ別講義一覧	1.47%	30.19%
7	ユーザー登録	1.10%	24.07%
8	共催セミナー	0.92%	34.07%
9	ログイン画面	0.71%	9.77%
10	初級編修了証	0.48%	11.76%
11	ICRwebの紹介	0.47%	29.57%
12	第2章 治療開発のための研究1: 臨床試験(修了)	0.42%	7.69%
13	初級編総合テスト	0.29%	14.08%
14	規制・ガイドライン集	0.26%	3.08%
15	ユーザー情報(リダイレクト)	0.26%	75.38%

【考察】

サイトの入り口となっているページとそのページの直帰率を表している。

検索エンジン経由で、トップページ以外のページからサイトに訪れるユーザーもいるため、入り口となるページが多いということは、いろいろな興味を持った人が訪れていること意味する。

入り口は多ければ多いほど良いといわれているが、ブランド力の高いサイトの場合、入り口ページの70%がトップページということもあり、当サイトの場合も、当サイトを認知して訪れているユーザーが多く、ブランド名がかなり浸透していると言える。

今後は、サイト内のページをうまくカテゴライズしたり、訪問者がもっと詳しく知りたいたいと思うページを作っていくことで、入り口となるページを増やすことができる。